

# STEP 1 照明器具のレイアウト

住む人の生活スタイルやお庭のスタイルから「光」が必要な場所を決めます。その際、目的照明と演出照明の2つを考えましょう。ライティングテクニックや照度表を参考にすると便利です。



## 使用ライト



# STEP 2 トランスを選択

使用する消費電力の合計によって専用DCトランスを選びます。トランスW数の70%が最大許容W数です。

- ..... 0.5W×6個=3W
- ..... 3W×3個=9W
- ..... 0.5W×3個=1.5W
- ..... 4W×1個=4W
- ..... 5W×1個=5W
- ..... 0.48W×3個=1.44W
- ..... 0.5W×1個=0.5W

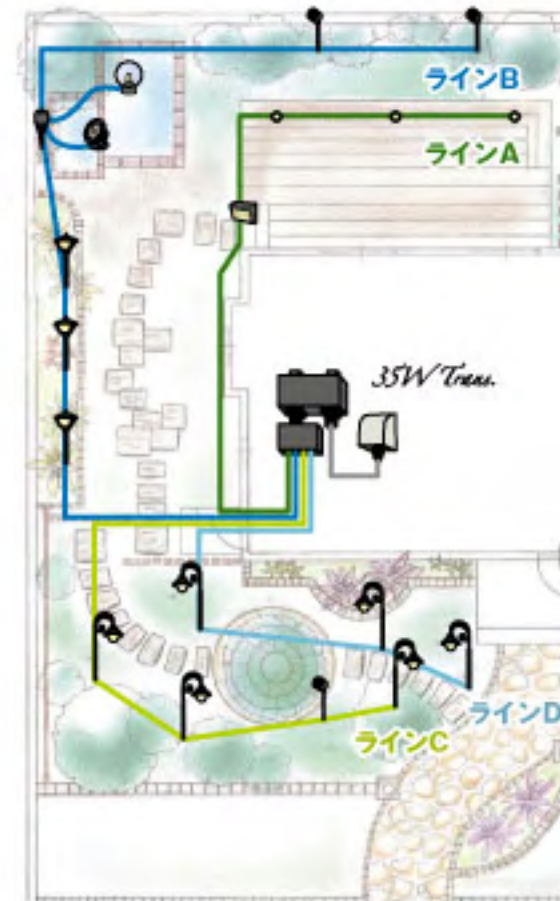
消費電力W数 **合計24.44W**

|                  |     |                                  |
|------------------|-----|----------------------------------|
| 専用DCトランス<br>35W  | 70% | (最大許容W数)<br>24.5W<br>まで使用可能      |
| 専用DCトランス<br>75W  | 70% | (最大許容W数)<br>52.5W<br>まで使用可能      |
| 専用DCトランス<br>150W | 70% | (最大許容W数)<br>52.5W×2ライン<br>まで使用可能 |

上のプランでは、専用DCトランス35W (HEA-35WB) を使用すると効率的です

# STEP 3 配線デザイン

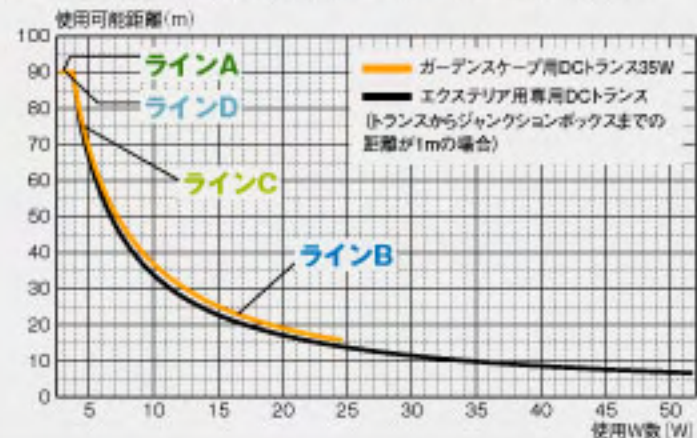
お庭の状況を考え、配線のデザインを決めます。各ラインの使用W数によって使用可能距離(トランスから一番遠いライトまでのコード長)も変わります。詳しくは下のグラフをご参照ください。



- ラインA**  
使用W数  
合計1.94W  
使用可能距離  
90m以内
- ラインB**  
使用W数  
合計16.5W  
使用可能距離  
22.5m以内
- ラインC**  
使用W数  
合計4.5W  
使用可能距離  
75m以内
- ラインD**  
使用W数  
合計1.5W  
使用可能距離  
90m以内

## 1ライン当たりの使用W数と使用可能距離

電圧降下により、12Vから11Vに電圧が下がる地点をグラフ化したものが下図です。11V以下でも点灯はしますが、本来の光量を得ることができません。グラフを見ながら、1ラインが何mの距離まで、本来の光量を発揮し、配線可能か見てみましょう。



# STEP 4 拾い出し

必要なアクセサリはこれだけ!

自動点灯、消灯/電圧変換/分岐が1つに

**DCトランス35W**  
HEA-35WB  
¥9,800 **1個**

分岐配線に  
**ジャンクションボックス**  
HCE-0005  
¥3,500 **1個**

ライトの配線接続に(ライト1つにつき2個使用)

**ドライコーン**  
HCE-0001 ¥1,500(4個セット) **32個**  
HCE-0014 ¥3,000(10個セット)  
HEC-0009 ¥26,000(150個セット)

配線に  
**コード**  
HCE-0002 ¥2,000(1巻5m) **現場に必要な長さ**  
HCE-0003 ¥4,500(1巻15m)  
HCE-0004 ¥24,000(1巻100m)

※1つのライト接続にドライコーンは2個必要です  
※ウォーターライトのコード長は5mです。直接ジャンクションボックス内で接続しているためドライコーンは使用しません